

取組事例の名称		平成23年度「除染技術実証試験事業」特殊洗浄機による放射能汚染土壌の減容化および一時保管方法に関する実証試験
概要	対象	放射能汚染土壌等除染除去物減容化技術
	種別	<input type="checkbox"/> 救援 <input type="checkbox"/> 機能回復 <input type="checkbox"/> 新・増設 <input type="checkbox"/> 復興 <input checked="" type="checkbox"/> その他（除染）
	規模	実証試験レベル
	実施会社	株式会社熊谷組
	実施場所	福島県大熊市
	発注者	独立行政法人日本原子力研究開発機構（内閣府委託事業）

1. 工事等取組の目的及び概要と採用した技術名称

名称：特殊土壌洗浄機システム（SRS：スーパーリサイクロンシステム）

放射能汚染された土壌を洗浄し、一時保管の汚染土壌の減容化を図る実証試験。

2. 当該技術を採用した理由、当該技術に期待した成果

採用理由：重金属汚染土壌の浄化技術として実用化されている

期待した成果：これまでに実績がある重金属（鉛、砒素等）汚染土壌や油汚染土壌と同等な洗浄効果を期待して採用

(写真、イラスト)

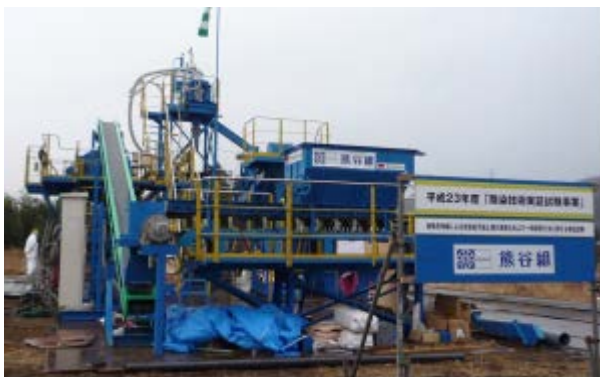
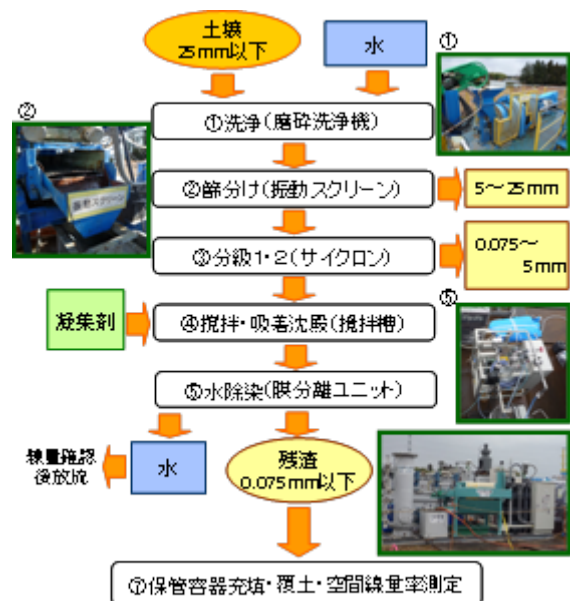


写真 大熊町内に設置した実証試験



取組事例の名称	平成23年度「除染技術実証試験事業」特殊洗浄機による放射能汚染土壌の減容化および一時保管方法に関する実証試験
<p>3. 工事等の実施に当たっての課題や留意した事項、苦労した事柄・教訓</p> <ul style="list-style-type: none">・ 空間線量率の高い場所での実証試験のため、職員・作業員の放射線管理に神経と時間を費やした。・ 初めてセシウム汚染土壌へ適用したため、試験方法や試験結果の評価を決める必要があった。・ 水、電気等のインフラ機能が完全に停止しているため、外部より持ち込む必要があった。	
<p>4. 実施後の成果に対する発注者や地元住民等の評価</p> <ul style="list-style-type: none">・ 空間線量率の高い場所から採取した放射能汚染土壌の試験データを提供できた。	
<p>5. 採用した技術に対する改善点、望まれる技術</p> <ul style="list-style-type: none">・ 土壌の種類により、洗浄効果が異なるため、更なる研究が必要。・ 空間線量率の高い場所から採取した土壌の洗浄効果向上が課題。	
<p>6. 今回の取組を通じ、将来の災害対応の為に準備すべきと感じた事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ 現状保有技術の改良や改善等の工夫により、適用範囲の拡大に関しての検証が必要である。	
NETIS登録	